NIE実践報告

1．タイトル：**自分の視野を広げてくれ、経済大好きにしてくれた新聞記事ノートの作成**

2．学校名

京都府同志社中学校

3．実践者名（代表者名）

田島繁

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会（経済的分野）　324人

6．単元（本時の学習課題）名

消費生活、企業、金融、財政、社会保障、環境問題、米国・欧州・ロシア・中国の経済、南北問題と経済協力

7．目標（狙い）

授業内容に関連した興味ある記事を10枚精選、要約と感想を書いた新聞記事ノートを年2回（1学期と3学期）作成する事によって、日本および世界の経済に対する関心を高め、理解を深める。

8．評価の視点

①どんな記事を集めたのか。②記事の要約と感想は適切か、理解度の深さ。③「この課題に取り組んで」どんな発見・変化があったのか。この3点を総合的に捉え評価する。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「日々の新聞こそ経済学習の原点」と年間通し新聞・ニュースをみるよう勧める。そして各授業で最新の記事を見せ、解説し、生徒に考えさせる。各学期に君の意見を15行で書けと論文問題を出す。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

例1．社会保障の年金問題について。最初に日本の年金制度のしくみについてプリントで説明する。少子高齢化がますます進展することをグラフで提示し、今までの年金改革について解説。そして今後の年金改革はどうあるべきかを生徒に考えさせる。インターネットで年金改革についての与党案と野党案を調べ、これに対するいろいろな人の意見を調べさせる。最後に、君は与党案か野党案か、そしてその理由15行で書けと2学期に論文テストとして出題した。

例2．「世界の中の日本」「貿易」の単元で、経済のグローバル化が進んでいることを説明し、「今行われているFTA＆EPA交渉を通して、日本はこれからどのように変化していくと思うか、またそのような変化を前に君は今どんな力をつけていくべきだと思うか、君の意見を15行で書け」と3学期に出題した。

各学期に国民の関心の高い問題を取り上げ、新聞記事を見せ、インターネットで調べさせ、君の意見を書けと論文テストを毎年出題している。例1、例2とも3~　4時間とり、論文は期末テスト前の授業で15分間で実施した。評価は10点満点とし、特に素晴らしい意見には＋α点とした。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

「この新聞記事ノートに取り組んで、今までさっぱり分からなかったニュースキャスターの言っていることが少しずつ聞けるようになった。新聞をこんなにも気合いを入れて読むのは、もちろんこの中3の経済『新聞記事ノート』をやるようになってからだ。自分の考えを述べられるようになり少し大人になったかな」

12．成果と課題

「今まで新聞と言えばスポーツやテレビ欄、社会面しか読まなかったのが、新聞記事ノートを作成することにより、今では経済面や政治面から読むようになり、世界が少しずつ見えてきました」「初めは大嫌いだった経済が、毎日自分の興味ある記事を探して読んでいるうちにいつしか大好きになりました」と、生徒のうれしい感想に励まされ新聞記事ノートを約35年続けてきました。課題は教師には大変な重労働だということです。320名の作品を読み評価するには毎日深夜に及び、しかも半月以上かかります。他の私学の先生も試みられましたが「身体を壊し続けられなかった」と。短時間に能率よく行う工夫が求められます。